



## ⑥ 観光・交流 分野



### 2030年の 目指す姿

国内外の多くの人々を惹きつけ、多彩な交流を通じた賑わいが創出されるまちを実現します

観光産業は、ホテル・旅館、交通機関、飲食サービス業、農業・漁業など、関係する産業のすそ野が極めて広く、観光振興によってもたらされる経済効果は、地域の活性化に大きな役割を果たします。

本市は、古くから東西交通の要衝として、多くの人・モノ、情報が行き交い発展を遂げてきました。さらに、歴史や芸術、食、自然、スポーツといった、国内外の人々を惹きつける多彩な地域資源が育まれていることから、これらを観光・交流の取組に最大限活かしていくことが求められています。

一方、近年の新型コロナウイルスの感染拡大やデジタル技術の進歩が、社会経済を大きく変え、旅行スタイルや人々との交流手段を多様化させています。こうした観光を取り巻く環境の変化を踏まえ、本市の強みを活かした観光産業の振興や受入環境の充実を図り、本市のファンを増やしていくことが必要です。

そこで、人々の観光旅行の動向や嗜好の変化をとらえながら、地域の魅力を一層磨き上げるとともに、積極的な情報発信を図り、国内外から訪れる人々と市民が活発に交流する、賑わいのあるまちの実現を目指します。

### 分野を代表する指標

#### 観光交流客数

R3 現状値: 15,277,852人

R8目標 27,788,000人  
R12目標 28,348,000人

※静岡市調べ

#### 観光消費額単価

R4.4~9 現状値: 日帰り客4,413円 宿泊客27,094円

R8目標 4,634円 28,449円  
R12目標 4,854円 29,803円

※(公財) するが企画観光局調べ

#### 来訪者の満足度

R3.10~R4.9 現状値: 52.3%

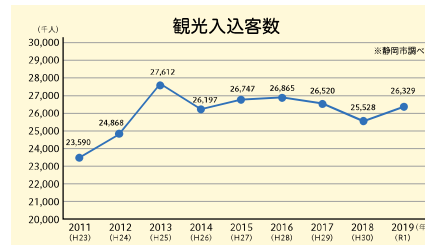
R8目標 54.0%  
R12目標 56.0%

※(公財) するが企画観光局調べ

### 現状と課題

地域資源の活用や魅力を発信するとともに、おもてなしの充実を図ることで、多彩な交流を通じた賑わい創出による地域経済の活性化が求められています

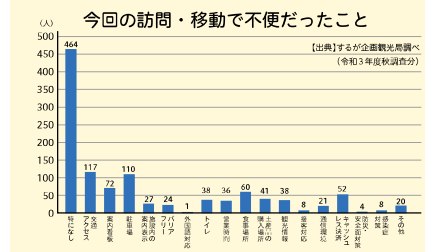
世界に誇れる地域資源の活用による国内外からの誘客への期待



本市には、世界文化遺産富士山の構成資産「三保松原」、日本三大美港「清水港」、ホビー産業など世界に誇れる地域資源が存在します。また、国宝「久能山東照宮」や駿州の旅日本遺産をはじめとする歴史資源、お茶・マグロ・しずま鮮魚などの食、南アルプスの山々等オクシズの豊かな自然、ホームタウンチームをはじめとしたスポーツなど、本市ならではの魅力も有しています。

今後は、人々を多く呼び込むとともに、市民の暮らしや自然環境にも配慮をし、将来に渡り住民と来訪者の双方が満足する観光を推進していく必要があります。

来訪者へのおもてなしと再訪を促す取組の充実

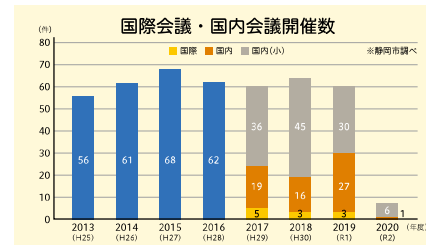


新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、人々の生活スタイルは大きく変化し、観光の在り方も変化してきました。ポストコロナを見据え、今後は外国人観光客も回復することが期待されます。

快適で安心して観光を楽しんでもらえるよう、施設改修のほか、看板の多言語化など、誰にとってもやさしい「おもてなし」を提供することが求められています。

また、魅力ある地域資源同士をつなげ、周遊を促す取組を進めることで、観光客が静岡市の魅力に多く触れる機会を創出し、観光客の満足度と再訪意欲を高めることが求められています。

効果的な情報発信と社会情勢の変化に対応した誘客と交流の推進



デジタル技術等の進歩などにより、人々の観光情報等入手する方法が大きく変化してきました。観光情報等を発信する際には、観光客が情報収集に用いる媒体や、狙うべきターゲットを見極め、効果的・積極的な情報発信を行っていく必要があります。

また、新型コロナウイルスの感染拡大などの影響により、MICE<sup>(※1)</sup>の誘致や海外との交流が困難になりました。しかし、こうした状況下でも、オンライン交流などの新たな交流の方法が見出されてきました。

今後も、社会情勢の変化にも柔軟に対応できるような国内外からの誘客や交流の推進が求められています。

地域の特色に合わせたまちなかの賑わいづくり



駿河まなびのまちづくりランドデザイン(イメージ)

地域の特色を活かしたまちは国内外の人々を惹きつけ、活発な交流や賑わいを生み出します。

本市では、3つのランドデザインを策定し、これらをもとに地域の特色に合わせたまちづくりを進めています。静岡都心では、歴史博物館や静岡まつりなど数多くの歴史資源や静岡特有の文化資源、清水都心では、海洋文化施設の整備や清水みなと祭りなど清水伝統の海洋文化、草薙・東静岡副都心では、アリーナの整備などスポーツや文化芸術の集積を活かし、賑わいを創出します。

そして、まちなか同士の連携を図ることで、相乗効果を生み、地域全体の活性化を図っていく必要があります。

(※1) MICE : Meeting (会議)、Incentive travel (報酬・研修旅行)、Convention (国際会議)、Exhibition/Event (展示会・イベント) の頭文字を使ったビジネスイベントの総称

## 政策と施策体系図

政策  
01国内外に誇れる地域資源を活かした  
観光を推進します

施策1

世界に認められた  
地域資源の磨き上げ

- 世界文化遺産富士山の構成資産「三保松原」の保全と活用
- 日本平からの夜景を活かしたナイトツーリズム<sup>(※1)</sup>の推進

施策2

模型の世界首都・静岡を  
活かした魅力づくり

- 「ホビーのまち」静岡の推進
- 静岡市プラモデル化計画の推進

施策3

多彩な歴史文化に  
触れ親しむ観光振興

- 国宝「久能山東照宮」、駿川の旅日本遺産をはじめとする歴史資源の磨き上げ

施策4

お茶・マグロ・しずまえ  
ブランドなどの食の磨き上げ

- お茶ツーリズムの推進
- まぐろのまち 静岡の推進
- しずまえ鮮魚の普及の推進

施策5

オクシズの魅力を活かす  
交流促進

- 温泉を核とした観光誘客の推進

施策6

スポーツを活かした  
交流促進

- ホームタウンチームとの連携・協働

(※1) ナイトツーリズム：夜間帯の観光

政策  
02静岡の魅力伝え、国内外からの誘客と  
活発な交流を推進します

施策1

静岡市ならではの  
資源を活用した  
シティプロモーション

- 「静岡市はいいね。」を活かしたシティプロモーション
- しずチカを拠点としたシティプロモーション

施策2

社会情勢の変化に対応した  
誘客促進

- MICE誘致
- インバウンド<sup>(※2)</sup>の推進
- マイクロツーリズム<sup>(※3)</sup>の推進

施策3

海外との多彩な交流

- 台湾とのスポーツ交流
- 諸外国・都市との国際交流
- 客船誘致ポートセールス<sup>(※4)</sup>

(※2) インバウンド：外国人が訪れてくる旅行

(※3) マイクロツーリズム：地元や近隣地域などで観光をする近距離旅行

(※4) ポートセールス：貨物船、客船等の船舶や貨物を誘致するため、国内外の船社や荷主、旅行業者等に対して、港を利用するメリットをPRする取組

政策  
03来訪者にやさしく、再訪を促す  
受入態勢づくりを推進します

施策1

来訪者が快適・安全に楽しむための  
受入環境の充実

- 観光施設リニューアル
- 看板の多言語化の推進

施策2

来訪者へのおもてなしの向上と  
周遊を促す取組みの促進

- ボランティアガイドの育成
- DMO<sup>(※5)</sup>の推進

(※5) DMO：観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた観光地域づくりの舵取り役を担う法人のこと

政策  
04まちなか(都心・副都心)から広がる  
まちの賑わいづくりを推進します

施策1

静岡都心を中心とした  
賑わいづくり

- 歴史博物館の管理運営
- 静岡まつりなどの賑わい創出イベント開催支援
- 駿府城公園施設の管理運営

施策2

清水都心を中心とした  
賑わいづくり

- 海洋文化施設の整備
- 駿河湾フェリー運航
- 清水みなと祭りなどの賑わい創出イベント開催支援

施策3

草薙・東静岡副都心を中心とした賑わいづくり

- アリーナの整備促進
- 東静岡アート&スポーツ/ヒロバの活用



観光・交流分野に関連するSDGsゴール

